

九州生乳販連会報



No. **60**

November 2017

TOPICS

- 平成29年度生乳計画生産目標数量の1次調整結果について 1
- 酪農情勢報告 2
- 平成29年度会員別生乳受託乳量 3
- 平成29年度販売状況について 3
- 月別受託生乳検査成績 3
- 第15回全共実行委員会設立総会開催される 4
- 加工原料乳生産者経営安定対策事業に関するお知らせ 4
- 人事異動 4
- 九州北部豪雨（激甚災害指定）見舞金の贈呈について 5
- ポジティブリスト制度に係る検査対象物質の検査結果について 5
- 酪農理解醸成・牛乳消費拡大対策事業 お知らせとご報告 6
- 酪農理解醸成のための新聞広告の掲載について 8

平成29年度生乳計画生産目標数量の1次調整結果について

平成29年度生乳需給安定化対策実施要領に基づき、9月末までに各会員からの目標数量の増・減量申請を取りまとめたところ、増量希望なし、減量希望9,067トンとなり、増・減量後の各会員配分量は表2のとおりとなりました。なお、今年度よりブロック間調整は行われないため、この減量申請分は本会で保留します。

表1. 九州の平成29年度生乳計画生産目標数量

会員名	平成28年度 生乳計画生産 実績数量		平成29年度 生乳計画生産 目標数量 (一次)		うち、 販売基準数量 C	うち、 新規就農枠数量	うち、 特別調整乳数量 D
	A	前年比 A/H27	B : C + D	前年比 B/A			
ふくおか県酪農協	77,990,702	95.84	78,004,866	100.02	78,004,866	0	0
佐賀県農協	15,506,719	93.92	15,531,857	100.16	15,531,857	0	0
長崎県酪連	40,775,228	95.18	40,519,372	99.37	40,519,372	0	0
熊本県酪連	244,085,222	98.30	254,150,667	104.12	247,088,048	570,000	7,062,619
大分県酪農協	71,254,925	95.81	71,799,515	100.76	71,799,515	359,000	0
宮崎県経済連	81,308,792	97.20	81,440,600	100.16	81,440,600	0	0
鹿児島県酪農協	86,840,915	95.17	88,362,560	101.75	87,076,742	0	1,285,818
合計	617,762,503	96.78	629,809,437	101.95	621,461,000	929,000	8,348,437

表2. 九州の平成29年度生乳計画生産目標数量の1次調整後の配分量

会員名	平成29年度 増量数量(一次)		平成29年度 減量数量(一次)		平成29年度 生乳計画生産 目標数量 (二次) I : J + K	前年比 I/A	うち、 販売基準数量 J : C + E - G	うち、 特別調整乳数量 K : D + F - H
	販売基準 数量 E	特別調整乳 数量 F	販売基準 数量 G	特別調整乳 数量 H				
ふくおか県酪農協	0	0	0	0	78,004,866	100.02	78,004,866	0
佐賀県農協	0	0	0	0	15,531,857	100.16	15,531,857	0
長崎県酪連	0	0	0	0	40,519,372	99.37	40,519,372	0
熊本県酪連	0	0	0	5,884,440	248,266,227	101.71	247,088,048	1,178,179
大分県酪農協	0	0	1,500,000	0	70,299,515	98.66	70,299,515	0
宮崎県経済連	0	0	1,682,862	0	79,757,738	98.09	79,757,738	0
鹿児島県酪農協	0	0	0	0	88,362,560	101.75	87,076,742	1,285,818
合計	0	0	3,182,862	5,884,440	620,742,135	100.48	618,278,138	2,463,997

酪農情勢報告

1. 生乳生産

(1)九州の生乳出荷戸数

平成29年9月の生乳出荷戸数は、1,428戸でした。

平成29年3月時点の1,457戸と比較すると、今年度4月以降で29戸減少しています。

(2)九州の乳用種雌牛飼養頭数と出生頭数

表1. 乳用種雌牛飼養頭数(平成29年) (単位:頭)

		7月	8月	9月
23カ月令以下		28,021	27,372	27,167
	対前年	-970	-1,212	-1,016
	前年比	96.7%	95.8%	96.4%
24カ月令以上		80,231	80,209	79,946
	対前年	-1,269	-1,196	-1,296
	前年比	98.4%	98.5%	98.4%
総頭数		108,252	107,581	107,113
	対前年	-2,239	-2,408	-2,312
	前年比	98.0%	97.8%	97.9%

注: Jミルクホームページより

4-6月には総頭数が月平均2,900頭ほど減少していたことと比較して、7-9月は同2,300頭となり、その減少幅がやや縮小されました。しかし、その内訳を見ると、23カ月令以下の減少幅は4-6月の月平均800頭に比べて7-9月は同1,000頭と拡大しており、後継牛不足への懸念が高まります。

表2. 出生頭数 (単位:頭)

		6月	7月	8月
総頭数		2,673	3,624	4,501
	対前年	-547	-671	-38
	前年比	83.0%	84.4%	99.2%
うち、乳用種雌		533	829	1,052
	対前年	-71	-53	80
	前年比	88.2%	94.0%	108.2%
うち、乳用種雄		454	685	874
	対前年	-111	-116	-52
	前年比	80.4%	85.5%	94.4%
うち、交雑種		1,302	1,698	2,053
	対前年	-400	-513	-187
	前年比	76.5%	76.8%	91.7%

注: Jミルクホームページより

6-7月の出生総頭数は前年から15%以上減少して推移しましたが、8月はほぼ前年並みとなりました。

(3)生乳生産量

九州の生乳受託乳量は、7-9月の期間前年比が93.8%と酷暑の夏を反映した結果となりました。各地で真夏日を記録し始めた6月下旬以降、日量の減少度合いが強まり、8月まで生乳生産量の減少が

続きました。その後、日量は回復基調へ転じていますが、酷暑の影響が10月以降に夏バテを招くこともあり、注意が必要です。

全国の生乳受託乳量について、9月には北海道が前年の8月以来13カ月ぶりに増加に転じたこともあり、前年比99.1%とほぼ前年並みの結果となりました。

表3. 生乳受託乳量 (単位:トン、%)

		7月	8月	9月	7-9月計
九州		47,442	45,295	45,815	138,552
	前年比	94.3	93.6	95.6	93.8
都府県		262,671	254,177	250,760	767,608
	前年比	96.6	96.3	97.7	96.7
北海道		323,044	320,615	307,266	950,925
	前年比	96.8	99.7	100.3	98.9
全国		585,715	574,792	558,026	1,718,533
	前年比	96.7	98.1	99.1	97.9

注:今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

注:中央酪農会議 用途別販売実績(速報)より

2. 生乳需給

九州では引き続き飲用向けが堅調であり、生乳生産量が極端に落ち込んだ7月以降は生乳需給の逼迫傾向が強まりました。全国的には、東北・関東圏で7月下旬から8月にかけて天候不順の影響を受けたことで、やや落ち着いた需給となりました。9月には台風18号が列島を縦断する形で通過したため各地で集送乳に混乱が生じ、慌ただしい需給となりました。

表4. 用途別販売数量 (単位:トン、%)

		用途	7月	8月	9月
九州		飲用	34,176	32,070	34,743
		はっ酵乳	8,299	8,327	7,822
		乳製品 (前年比)	2,456 (88.4)	2,206 (67.9)	728 (98.6)
		生クリーム	2,411	2,592	2,423
		チーズ (前年比)	99 (96.3)	100 (93.4)	98 (98.3)
	全国		飲用	285,617	264,417
		はっ酵乳	42,013	41,924	38,199
		乳製品 (前年比)	108,906 (83.3)	120,985 (93.8)	84,123 (94.5)
		生クリーム	114,563	113,365	109,351
		チーズ (前年比)	34,617 (93.7)	34,100 (90.4)	32,543 (98.8)

注:今年度から東海と九州の公共の数値を除いています。

注:中央酪農会議 用途別販売実績(速報)より

3. 今後について

九州では7月に九州北部豪雨、その後も8、9月と立て続けに台風が接近し局地的な大雨を降らせるなど、酷暑の中、多くの災害に見舞われました。このような中でも、生乳生産量は8月以降力強く回復基調に転じています。10月以降は生乳不需求期となる年末年始を見据えた需給調整が必要になりますが、本会としては堅調な飲用需要を維持できるよう酪農理解醸成活動等により、酪農の価値訴求を行い、安全安心な生乳の販売に努めてまいります。

平成 29 年度会員別生乳受託乳量

(単位：t,%)

	ふくおか県酪協			佐賀県農協			長崎県酪連			熊本県酪連		
	実績	H28比	H27比	実績	H28比	H27比	実績	H28比	H27比	実績	H28比	H27比
7 月	5,963	93.1	87.9	1,092	86.1	79.0	3,124	97.4	89.4	19,244	95.6	93.7
8 月	5,804	94.1	89.3	1,072	89.7	81.3	2,936	92.0	87.3	18,469	96.1	94.4
9 月	5,907	96.3	93.1	1,122	94.9	85.5	2,977	93.1	89.1	18,733	97.5	95.9
合計	37,592	96.0	91.5	7,041	91.0	84.1	19,682	96.7	91.7	120,786	98.9	97.1

	大分県酪協			宮崎県経済連			鹿児島県酪協			合計		
	実績	H28比	H27比	実績	H28比	H27比	実績	H28比	H27比	実績	H28比	H27比
7 月	5,380	91.2	86.1	6,291	93.3	91.1	6,687	95.7	89.2	47,781	94.4	90.4
8 月	5,163	91.1	88.0	5,911	91.1	89.4	6,264	91.8	88.1	45,619	93.6	90.6
9 月	5,147	92.6	89.9	5,948	93.5	92.8	6,320	95.3	90.5	46,154	95.6	93.0
合計	33,904	94.2	89.9	39,035	94.7	92.6	41,997	95.5	91.0	300,038	96.6	93.4

平成 29 年度販売状況について

用途別生乳販売実績

(単位 数量：t、前年比：%)

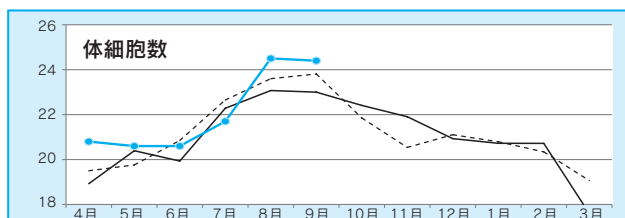
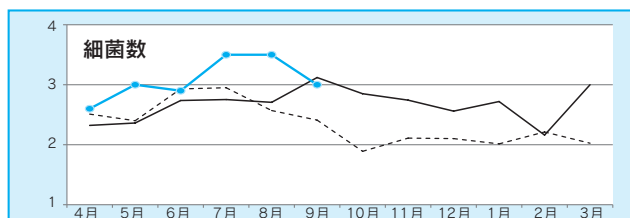
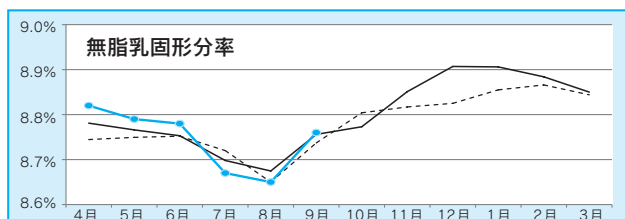
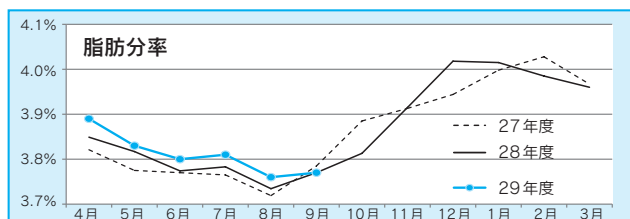
用途	7 月		8 月		9 月		第 2 四半期計		上期計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
域内飲用向	25,042	97.1	26,743	101.8	25,333	102.0	77,119	100.3	145,602	100.6
学校給食向	2,524	93.4	241	79.3	4,175	105.4	6,941	99.6	18,335	101.9
域外飲用向	6,902	79.6	5,352	66.7	5,546	66.4	17,800	71.1	50,385	82.7
飲用向計	34,469	92.7	32,337	93.5	35,054	94.4	101,860	93.5	214,322	95.8
はっ酵乳等向	8,299	107.8	8,327	107.8	7,822	104.8	24,449	106.8	48,100	110.2
加工原料乳向	2,484	88.4	2,245	68.1	737	98.6	5,466	79.8	21,495	85.8
生クリーム等向	2,430	85.0	2,610	86.3	2,442	86.6	7,482	86.0	15,531	88.3
チーズ原料向	99	96.3	100	93.4	98	98.3	297	95.9	590	97.3
販売乳量合計	47,781	94.4	45,619	93.6	46,154	95.6	139,554	94.5	300,038	96.6

支払乳代

(単位 金額：千円、単価：円)

項目	7 月		8 月		9 月		第 2 四半期計		上期計	
	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価
生乳販売金額①	5,143,340	107.643	4,892,176	107.241	5,063,123	109.701	15,098,639	108.192	32,149,530	107.151
脂肪加算金	28,342	0.593	22,414	0.491	28,975	0.628	79,730	0.571	190,306	0.634
無脂固形加算金	34,342	0.719	32,164	0.705	42,250	0.915	108,756	0.779	258,503	0.862
成分加算金計	62,684	1.312	54,578	1.196	71,225	1.543	188,486	1.351	448,809	1.496
季節別調整率②	110%		111%		114%					
季節別調整額	514,334	10.764	538,139	11.796	708,837	15.358	1,761,311	12.621	1,072,566	3.575
調整後乳代③=①×②	5,657,674	118.407	5,430,315	119.037	5,771,960	125.059	16,859,950	120.813	33,222,096	110.726
プール費用④	235,907	4.938	216,296	4.742	215,257	4.665	667,461	4.783	1,500,069	5.000
差引乳価③-④	5,421,767	113.469	5,214,019	114.295	5,556,703	120.394	16,192,489	116.030	31,722,027	105.726

月別受託生乳検査成績



第15回全日本ホルスタイン共進会九州・沖縄ブロック大会 2020 実行委員会設立総会開催される

平成29年10月12日宮崎観光ホテルにおいて大会実行委員会の設立総会が開催されました。

当日は九州・沖縄各県行政や関係団体など31幹事団体が全員出席のなか、尾形実行委員長会長を議長に選任し第1～6号議案すべてが承認されました。

大会は宮崎県都城市の都城地域家畜市場を会場に、平成32年(2020年)10月31日から11月2日の開催となります。

前回までは1県による単独開催でしたが、今回は初のブロック開催になりますので、九州・沖縄各県の酪農家の皆様や関係団体の協力が不可欠になります。成功裡に終わるよう酪農家の皆様をはじめ関係団体のご協力をお願い致します。



実行委員会集合写真



第15回全共 普及用ポスター

加工原料乳生産者経営安定対策事業に係るお知らせ

独立行政法人農畜産業振興機構より、平成28年度平均取引価格及び平成29年度補填基準価格について通知がありましたのでお知らせします。

1 平成28年度平均取引価格	
(1)脱脂粉乳・バター等向け生乳	81.47円/kg
(2)チーズ向け生乳	69.05円/kg
(3)入札取引による乳製品向け生乳	100.10円/kg
2 平成29年度補填基準価格	80.81円/kg
平成29年度生産者拠出金単価 (加工原料乳1kgあたり)	0.20円

人事異動



筈 晋介



佐藤 孝俊



楽満 咲希

<新規採用>

平成29年 9月1日付 販売部 筈 晋介
平成29年10月1日付 販売部 佐藤 孝俊

<派遣受入>

平成29年 9月1日付 販売部 楽満 咲希

九州北部豪雨（激甚災害指定）見舞金の贈呈について

7月5日～6日に発生した九州北部豪雨におきましては、福岡県・大分県を中心に甚大な被害が発生いたしました。

そこで、被災された酪農家の皆さんを支援するため、生乳受託販売委員会での協議及び理事会での決議を経て、下記のとおり見舞金の贈呈を行いました。

- ・対象会員 ふくおか県酪農協・大分県酪農協
- ・贈呈金額 生産者乳価対策資金より 各100万円
九販連より 各10万円
- ・贈呈式 平成29年9月28日



ふくおか県酪農協 尾形組合長より「ありがとうございました。今後とも犠牲者の方々に恥じないよう頑張っ参りたい。」大分県酪農協 清末組合長より「ありがとうございました。今般の災害では、組合一丸となって初動対応に努めてきた。このたびの見舞金については有意義に使わせていただく。」との謝辞がございました。

被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成29年度ポジティブリスト制度に係る検査対象物質の定期的検査結果について

平成29年10月に、ポジティブ制度に関する農薬等残留検査が全国で実施されました。九州においては、10本（合乳）の検査が実施されました。結果は、全ての項目において検出されず九州産の生乳が安全であることが第3者に担保されています。

コース名	検査感度	検査方法	対象物質名	結果
九州1	0.005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	イベルメクチン(22,23-ジヒドロアベルメクチンB[1a]として)	検出せず
	0.005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	エプリノメクチン(エプリノメクチンB[1a]として)	検出せず
	0.00005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	デキサメタゾン	検出せず
九州2	0.01ppm	ガスクロマトグラフ-質量分析法	シフルトリン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	エンロフロキサシン(シプロフロキサシンとの和として)	検出せず
	0.02ppm	微生物定量法	ネオマイシン	検出せず
九州3	0.005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	シロマジン	検出せず
	0.01ppm	高速液体クロマトグラフ法	オキシテトラサイクリン	検出せず
	0.01ppm	高速液体クロマトグラフ法	クロルテトラサイクリン	検出せず
	0.01ppm	高速液体クロマトグラフ法	テトラサイクリン	検出せず
九州4	0.002ppm	ガスクロマトグラフ法	フェニトロチオン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	イミダクロプリド	検出せず
	0.02ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	カナマイシン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	[モノ、ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン)]-アルキルトルエン	検出せず
九州5	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	塩化ジデシルジメチルアンモニウム	検出せず
	0.01ppm	ガスクロマトグラフ-質量分析法	ベルメトリン	検出せず
	0.02ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	ジヒドロストレプトマイシン	検出せず
九州6	0.02ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	ストレプトマイシン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	イソシアヌル酸	検出せず
	0.005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	イベルメクチン(22,23-ジヒドロアベルメクチン B[1a]として)	検出せず
九州7	0.005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	エプリノメクチン(エプリノメクチンB[1a]として)	検出せず
	0.00005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	デキサメタゾン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	シフルトリン	検出せず
九州8	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	エンロフロキサシン(シプロフロキサシンとの和として)	検出せず
	0.02ppm	微生物定量法	ネオマイシン	検出せず
	0.005ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	シロマジン	検出せず
	0.01ppm	高速液体クロマトグラフ法	オキシテトラサイクリン	検出せず
九州9	0.01ppm	高速液体クロマトグラフ法	クロルテトラサイクリン	検出せず
	0.01ppm	高速液体クロマトグラフ法	テトラサイクリン	検出せず
	0.002ppm	ガスクロマトグラフ法	フェニトロチオン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	イミダクロプリド	検出せず
九州10	0.02ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	カナマイシン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	[モノ、ビス(塩化トリメチルアンモニウムメチレン)]-アルキルトルエン	検出せず
	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	塩化ジデシルジメチルアンモニウム	検出せず
九州10	0.01ppm	ガスクロマトグラフ-質量分析法	ベルメトリン	検出せず
	0.02ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	ジヒドロストレプトマイシン	検出せず
	0.02ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	ストレプトマイシン	検出せず
九州10	0.01ppm	液体クロマトグラフ-質量分析法	イソシアヌル酸	検出せず

酪農理解醸成・
牛乳消費拡大対策事業

お知らせとご報告について

放送局イベントへの出展について

九州LOVE MILK CLUBでは昨年に9月23・24日鹿児島「KTSの日」、10月14・15日福岡県「博多ファーマーズマーケット」、10月28・29日熊本県「夢まちランド」のイベントに出展をしました。各会場では牛乳の試飲や模型牛の「くるみ・クルクル」を使った模擬搾乳・模擬哺乳体験を実施し、多くの来場者に酪農体験を楽しんでいただきました。また、酪農体験に参加してくれた方にはリーフレットを提供し、酪農理解醸成に繋げることが出来ました。

日時	イベント名	会場	催物
H29. 9/23(土) 24(日)	KTSの日2017	鹿児島市山下町 鹿児島県民センター	模擬搾乳・模擬哺乳体験、リーフレット・ ミルメークのサンプリング 2,100 部、 風船配布 250 個 牛乳の試飲 1,800 杯
H29.10/14(土) 15(日)	博多ファーマーズマーケット	博多区博多駅前広場	模擬搾乳・模擬哺乳体験、リーフレット・ ミルメークのサンプリング 2,200 部、 風船配布 300 個 牛乳の試飲 2,300 杯
H29.10/28(土) 29(日)	KKT夢まちランド	熊本市新市街	模擬搾乳・模擬哺乳体験、リーフレット・ ミルメークのサンプリング 2,100 部、 風船配布 250 個 牛乳の試飲 1,900 杯

鹿児島テレビ
「KTSの日」
催事



搾乳体験コーナー



試飲コーナー



サンプリング

JR博多シティ・
ぐるなび・九州旅客鉄道
「博多ファーマーズマーケット」
催事



搾乳体験コーナー



試飲コーナー

くまもと
県民テレビ
「夢まちランド」
催事



搾乳体験コーナー



試飲コーナー



サンプリング

乳和食キャンペーンの実施について



鹿児島KTSの日



博多ファーマーズマーケット

9月下旬～12月上旬にかけて、乳和食キャンペーンを実施していきます。本年度は各県の放送局イベント会場や駐車場スペースにキッチンカーで出向き、牛乳カレーうどんを提供していく内容です。実施した会場では、本サイトのメニューページを閲覧される方も多く、乳和食の認知度を高めることが出来ました。また、来場者からは「まろやかな口当たりでおいしい」「牛乳嫌いの子供が食べてくれた」などの意見をいただきました。そのおいしさと減塩効果について広くアピールするとともに、家庭でも乳和食を作ってもらおうよう促していきます。

酪農教育ファーム活動を実施しました

食育活動や、動物と人とのかかわりから生まれる食の大切さに気付くことを目的とし、各会員や学校関係者のご協力の下、実施しています。

10月13日(金)
大分県日田市立
東有田中学校

対象者：中学1年生から3年生 45名
実施内容：搾乳、哺乳体験、バター作り



10月20日(金)
熊本県阿蘇郡
酪農マザーズ阿蘇ミルク牧場

対象者：熊本市立 池田小学校1年生60名
実施内容：アイスクリーム作り体験、乳搾り体験、動物ふれあい体験



ファン獲得運動や酪農家紹介ムービー、牛乳料理やイベント情報はこちらをチェック！まずは検索してみてくださいね！

ホームページは **ミルとミク** で検索 URL : www.mirutomiku.jp
フェイスブックは **九州生乳販連** または **@kyuhanren** で検索
URL : <https://www.facebook.com/kyuhanren>

酪農理解醸成のための 新聞広告の掲載について

check!

新聞を使った酪農理解醸成活動では、昨年4月の熊本地震から約1年半が経過し、酪農家や組織が県を超えて協力し合うことで地震から立ち直ろうとしている姿や、酪農家が前を向いて懸命に頑張っている姿を訴えていきます。本年度は28年度乳質共励会最優秀賞受賞者の熊本県菊池郡の内田牧場さんと長崎県島原市の池田牧場さんをモデルにして、それぞれ1回ずつ掲出します。メインコピーは「この一杯に、みんながいる。」です。【10月7日（土）掲出実施：熊本県菊池郡の内田牧場さん、11月18日（土）掲出予定：長崎県島原市の池田牧場さん】

一杯の牛乳は、みんなが支え合うことで、やつとあなたの元に届く。熊本地震があらためて教えてくれたことです。

おまへ一年前、予震も少ない大地震が起きました。熊本では、何棟かの牛舎が倒れ、たくさんの乳牛を失いました。道路が寸断され、生乳を運搬できない苦難がありました。それでも、たくさんの人たちが迅速にサポート体制をつくって、牛乳は店頭に並び始めました。池田さん、ヘルパーさん、運搬する人、工場で製品化する人、みんながいつもより互いを思いやり、もつと頑張ることで、九州の酪農は、地震から立ち直ってきました。

牛乳はそもそも、みんなを支えたい、思いをつなぐことで生まれる飲み物です。大切な地産でしたが、大事なことを教えてくれました。みんなが必死になって、つないだ思いが込もっている。今年の九州の牛乳は、ちよつと違います。

この一杯に、みんながいる。

平成28年度
生乳品質共励会2部最優秀賞
熊本県菊池郡
内田牧場 内田 洋さん、美紀さん

九州酪農乳業協同組合 九州 Love Milk Club www.miluteamku.jp 生乳生産者団体協議会 (株)島原産農協 (一社)中央酪農会 後援